

喉をつまらせた

応急手当

食べ物等が口または喉につまり、こちらの問いかけにうなずくが、声が出せない場合窒息と判断します。

《反応(意識)がある場合》

直ちに119番通報を誰かに頼み、異物の除去を試みます。以下の方法を数回ずつ異物が取れるか、反応がなくなるまで繰り返してください。

咳は異物除去に最も効果的です。咳をすることが可能であれば、できるだけ咳を続けさせてください。

1) 腹部突き上げ法

- ・後ろから抱えるようにして腕をまわす。
- ・片手で握りこぶしを作り、その親指側を相手のへそより上で、みぞおちの十分下方にあてる。
- ・その握りこぶしをもう片方の手で握り、素早く手前上方に向かって圧迫するように突き上げる。



2) 背部叩打法

- ・相手の横につき、相手を横向きにし、自分の方へ向かせる。
- ・手の付け根で両肩甲骨の間を力強く、何度も連続してたたく。



(乳児の場合)

- ・あなたの片腕の上に乳児をうつ伏せに乗せ、手のひらで乳児の顔を支えながら、頭部が低くなるような姿勢にする。
- ・もう一方の手の付け根で、背中の中を強く数回連続してたたく。



《反応(意識)がない場合》

反応がない場合、あるいは異物除去の途中で反応がなくなった場合には**直ちに通常の心肺蘇生**を行ってください。

心肺蘇生を行っている途中で、口の中に異物が見えた場合は、異物を取り除いてください。ただし、異物が見えない場合は無理に探さずに、心肺蘇生を続けてください。

注意

- ・腹部突き上げ法は、腹部の内臓を痛める可能性があるため、妊婦や乳児に対して行ってはいけません。
- ・横になっていて自力で起き上がれない方には、背部叩打法を行ってください。